

「話そう！語ろう！わが家の約束」運動を推進しています！
あったかい親子コミュニケーションを！

平成31年3月発行
恵那県事務所振興防災課
家庭教育担当：奥村
〒509-7203
恵那市長島町正家後田1067-71
TEL：0573-26-1111〈内線209〉
FAX：0573-25-7129
MAIL：q02042@govt.pref.gifu.jp



東濃地区の子育て・親育ちつうしん 家庭教育 なら

家庭教育学級から学んだことは「子育ての力」になります

親としての人生を歩んでいるわたしたち。家庭教育学級のリーダーとして、参加した保護者として、家庭教育学級から様々な「子育ての力」を学ぶことができた1年間だったと思います。もうすぐ、子ども達は、一つ進級します。保護者も親として一つ進級します。

子どもが学び成長するように、親も学び成長しましょう。4月からスタートする1年間も、是非、家庭教育学級からたくさん「子育ての力」を学ぶ1年間にしてください。

家庭教育学級の紹介



大垣共立銀行中津川支店企業内家庭教育研修 家族の絆 ～伝えようあなたの思いを～

日時 平成31年2月15日（金）16：45～17：15
場所 大垣共立銀行中津川支店
参加者 行員8名
講師 家庭教育推進専門職 奥村 多美子

交流を通して家族について考え合う家庭教育研修

大垣共立銀行中津川支店で企業内家庭教育研修が開催されました。大垣共立銀行では、9月の恵那支店に続き、2回目の開催でした。研修では、ワークシートに「自分のあゆみ 思い出エピソード」を記入し、エピソードとその時の家族の言動をグループで交流しながら、家族の絆について考え合いました。

研修の内容

- ☆家庭教育は、すべての教育の出発点
- ☆自分のあゆみを思い出してみよう。
- ☆自分のあゆみのエピソードを交流しましょう。
- ☆家族だから言葉にしなくても分かりあえる？
- ☆言葉のエネルギーシャワーは、褒めること。
- ☆短所は長所に、欠点を個性と捉え、良さを見つけること。
- ☆かけがえのない日常の幸せを感じる時とは？



グループで研修

【参加者の感想】

- ・家族との関わりを見つめ直すきっかけとなった。
- ・家族を改めて大切にしようと思えた。気づかされる点が多くあり、とても良かった。
- ・行員同士のコミュニケーションも必要であり、いつも話さないことを交流できた。
- ・短所や欠点を長所や個性と捉えるという考えが響いた。
- ・何気ない生活に感謝できるきっかけになった。

【このよさを学びたい！】

- ・自己紹介からの流れで、自分のあゆみのエピソードを交流したことで、笑顔が溢れ、和やかな雰囲気の中、会話が弾んだこと。
- ・子育て中の話や、自分が学生だったときの話等の交流を通して、家族との関わりについて改めて考えることができたこと。
- ・終業後の30分という時間を有効に使い、意欲的に交流することができたこと。

多治見市PTA連合会 第4回家庭教育委員会研修と新旧引き継ぎ

講演会型
子育てサロン型

日時 平成31年2月20日(水) 9:10~12:00
場所 パロー文化ホール(多治見市文化会館)
参加者 70名(新旧役員45名、講演のみ参加の一般会員25名)
講話 テーマ「子育て力アップ!! ~生き延びる力を~」
講師 臨床心理士 水野 香代 氏

新旧役員研修と交流を通して引き継ぐ家庭教育学級

多治見市PTA連合会の今年度最後の家庭教育委員会が開催されました。前半は、鈴木稔朗副教育長と臨床心理士水野香代先生の講話、後半は、新旧引き継ぎ会でした。講話では、一般のPTA会員の方も参加されました。最後に、今年度役員から新役員へ、一言ずつ応援メッセージがあり、「やってよかった!」「よし、やってみよう!」と思える和やかな引き継ぎ会となりました。

内容

① 研修 講話テーマ「子育て力アップ!! ~生き延びる力を~」

- ・長いスパンで子育てを考えてみよう
人類が長い歴史の中で生き延びてきたのは、共同養育のおかげ。現代の日本の子育ては、例外的。そもそも社会全体で育ててきたはずなのに、いつの間にか、子育ては失敗の許されないプロジェクトに。
- ・家事について
日本の家事の「当たり前」は世界の非常識
- ・子どもの不快な感情にどう付き合うか
「相手の気持ちが分かる」は、まず「自分の気持ちが分かる」ことが大切。
マイナスの気持ちを肯定するとプラスの気持ちが動き出す。
マイナスの気持ちを抑え込み過ぎると、プラスの気持ちも働かなくなる。
- ・母ではあるけれど、一人の人間として
正しさで勝負しない。正しさは人を追い詰める。
ジャスティスハラスメントの危険

② 新旧引き継ぎ

- ・家庭教育推進専門職より
「来年度の計画を立てるときに役立つポイント」
- ・ブロックごとに分かれての交流
- ・今年度の役員より新役員へ一言応援メッセージ



水野先生の講話



新旧役員によるブロックごとの交流



今年度役員より応援メッセージ



【応援メッセージ】

- ・知らないことを知ることができて新鮮だった。
- ・楽しかった。楽しみながら参加してほしい。
- ・「どうしようどうしよう」が「またやりたい」になった。
- ・初めての方はドキドキするが、役員を2回3回とやると、友だちができる。
- ・始めは、何も分からず不安だが、回りの方に助けられ、なんとかなるから大丈夫。
- ・PTA会長と教頭先生とコミュニケーションをとるとうまくいく。
- ・集まりが楽しかった。今年度以上に楽しいことをやってほしい。
- ・他の学校の方と交流でき、プリントが参考になった。

【このよさを学びたい!】

- ・子育て講話と引き継ぎ会の2部構成になっており、学びの多い会になったこと。
- ・子育てに関する質問を、事前に水野先生にお伝えすることで、講話の中でその回答をいただくことができ、具体的な子育てのポイントが分かったこと。
- ・引き継ぎで、ブロックごとの交流を行ったことで、参加している方が自分の思いを出し合えたこと。
- ・今年度役員の方の応援メッセージがとてもよかったこと。

多治見市立明和幼稚園家庭教育学級 いのち(性)のおはなし～助産師からのメッセージ～

日時 平成31年2月27日(水) 9:15～11:00
場所 多治見市立明和幼稚園
参加者 保護者40名
講師 岐阜医療科学大学助産学専攻科講師 森 仁美 氏



「性」を考えることから「いのち」の大切さを学ぶ家庭教育学級

明和幼稚園で、家庭教育学級「いのち(性)のおはなし」が開催されました。講師の森先生は、助産師として病院に勤務された後、大学で助産学を教え、性教育出前授業も行っています。講演では、自身の4人の男児の出産体験と、助産師としての経験から、分かりやすく「いのち(性)」についてお話されました。参加されたお母さん方が、家に帰って思わず我が子を抱きしめたいくなるような、温かい講演会でした。

講演の内容

- ✧性って何? → 自分らしくいのちを大切に生きてゆくこと。
- ✧助産師とは? → 女性しか認められない唯一の国家資格
「開業することができる」
「出産する女性に寄り添い、分娩介助ができる」
「母乳育児支援」 「性に関する健康教育」
- ✧生まれた時の話を子どもは大好き
産まれてきてくれてありがとう。生きていてだけで100点満点 → 自己肯定感の高まり。自分を大切にできる。
- ✧性と性の多様性 性の捉え方
連続性(人間関係)・生殖性(種族の保存)・快楽性(欲求充足)
支える基盤 → ①自己肯定感 ②コミュニケーション力 ③自己決定力
- ✧子どもへの大切な関わり方 → 「知的好奇心を開放する」「自己肯定感を育む」「伝えるではなく伝わる」



森先生の講話「いのちのおはなし」

【質問コーナーから】

- ・何歳まで異性の子と寝ていいの? → 子どもの気持ちで!
- ・赤ちゃんはどうやって生まれてくるのと聞かれたら? → 絵本を使い、そこから会話を!
- ・学校で性について何を習い、どう受け止めているの? → 家庭の会話が大事。お母さんはこう思うよ!
- ・私、胸が大きい方がいいと子どもが言ったら? → 「どうしてそう思うの?」と子どもの思いを聞く!
- ・人間はなぜ最初は赤ちゃんなの? → 体の栄養と心の栄養をたくさんもらうため!



林委員長から心のこもったお礼の言葉

【このよさを学びたい!】

- ・参加しているお母さん達にとって、出産・育児というとても身近な内容で、自分の体験と重ねながら、子育てを考えるととても大切な時間になったこと。
- ・講演のはじめに林委員長から「わたしがあなたをえらびました」の朗読があり、講演後には、自分の思いを話され、参加している方の気持ちが一つになる温かな講演会になったこと。

2019年度 東濃地区家庭教育学級リーダー研修会のお知らせ

【乳幼児期】2019年5月14日(火) 10:00～12:00 恵那総合庁舎 (恵那市)
【中学校】2019年5月15日(水) 13:30～16:00 恵那総合庁舎 (恵那市)
【小学校】2019年5月28日(火) 9:30～12:00 東濃西部総合庁舎(多治見市)

よろしくお祈りします





家庭教育学級とは・・・

親としての人生を歩んでいるわたしたち。子どもと1年過ごした日は、親にとって1歳のバースデー。時には、親としてこれでいいのかと悩む日もあります。大丈夫、それもあなたにとって大切な日々。

ともに悩み、ともに学びましょう。子どもが学び成長するように、大人も学び成長しましょう。家庭教育学級は、そんな学びを応援します。

子育ての最終目標は

自分の力で幸せに生きていける子に育てる

家庭教育学級

“子育て” や “しつけ” について学んだり悩みを話し合ったりする場

家庭教育

子どもの健全な身体と人格の発達のために
保護者が子どもに対して家庭で行う教育

挨拶及び礼儀

自制心

基本的生活習慣

思いやり

家族の大切さ

自立心

命の大切さ

善悪の判断

家庭

社会のルール

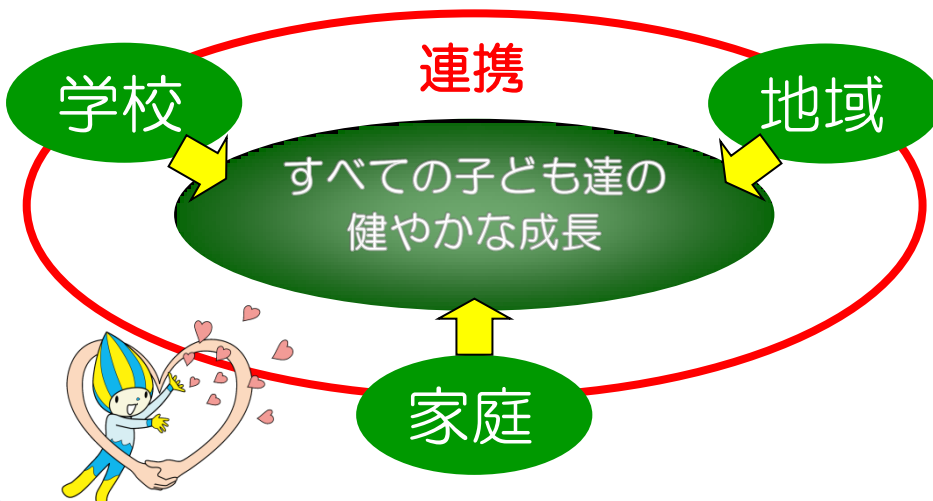
愛情による絆で結ばれた場
子どもの安らぎの場
生きていく基礎を培う場

家庭教育学級

保護者の学びの場

保護者同士の交流の場

親子の交流の場



家庭教育学級の対象者は、すべての保護者です。家庭教育学級は、子どもの育ちによって、様々な場所で開催されています。

例 乳幼児学級
幼稚園・保育園等の保護者会
小・中学校 PTA 等